

日本植物形態学会評議員会議事録（案）

平成 26 年 9 月 11 日 12:00-13:30、明治大学生田キャンパス第二校舎 A 館 J 会場にて

出席：会長（野口）、庶務幹事（酒井）、会計幹事（林）、編集委員長（唐原）、編集委員（稻田、宮沢）、広報委員長（高野）、会計監査（松永）、評議員（今市、河野、酒井、鮫島、田中、塚谷、永田、Ferjani、野崎、峰雪）

議題：

1. 報告事項

- (1) 会長報告／学会創立 25 周年記念事業について（野口）：日本植物形態学会 25 周年記念事業として作成していた”Atlas of Plant Cell Structure”の出版について報告があった。
- (2) 庶務報告（酒井）：会員数の変動、および前年度ならびに 2014 年 9 月までの活動状況について報告があり、了承された。
- (3) 会計報告（平成 25 年度決算）（林／河野）：平成 25 年度決算及び会計監査について報告があり、了承された。
- (4) 編集委員会報告（唐原）：Plant Morphology の発刊状況と J-Stage 版公開状況についての説明、および J-STAGE での早期公開の検討について報告があり、了承された。
- (5) 広報委員会報告（岩元／高野）：学会ホームページの運営状況とアクセス解析の結果、ならびに Twitter と Facebook での情報発信の開始について報告があり、了承された。
- (6) 平成 25 年度大会（札幌）について（酒井）：平成 25 年度大会（平成 25 年 9 月 12 日、北海道札幌市の北海道大学札幌キャンパスにて開催）の概要について報告があり、了承された。
- (7) 平成 26 年度大会（生田）について（酒井）：平成 26 年度大会（平成 26 年 9 月 11 日、神奈川県生田市の明治大学生田キャンパスにて開催）の概要について報告があり、了承された。
- (8) 3 賞選考結果について（河野）：選考委員会（専攻委員長《河野》、委員《塚谷、田中、野崎》、編集委員長《唐原》、オブザーバー《野口》）による 3 賞先行の過程と選考結果について報告があった。学会賞は峰雪芳宣氏、奨励賞は市橋泰範氏。平瀬賞は市橋泰範氏を代表とする 1 編。
- (9) 平成 27 年度以降の大会開催について（酒井）：大会会場の使用等に関する電子メールによる評議員会の結果（平成 26 年度は日本植物学会との共催、平成 27 年度以降は植物学会と共同で施設設備の借用交渉を行い、いずれも応分の費用を負担すること、平成 27 年度以降は大会運営担当者を早期に決定し、植物学会側と連絡を取りつつ準備を進めること）を確認した。
- (10) その他：特になし

2. 審議事項

- (1) 平成 26 年度事業計画案について (酒井) : 平成 26 年度事業計画 (案、ただし 9 月上旬までは実績) について検討を行い、原案を了承した。
- (2) 平成 26 年度予算案について (林) : 平成 26 年度予算 (案) について検討を行い、原案を了承した。
- (3) 平成 26 年度 3 賞選考委員会からの要望について (河野／酒井) : 3 賞選考委員会より、平瀬賞の枠組みの変更 (一般誌の他に専門誌の存在も意識した募集と選考を行う)、ポスター賞受賞者への応募のはたらきかけ、平瀬賞も受賞記念ポスターではなく受賞講演にすること、本学会の活動に貢献した委員の氏名の Plant Morphology 誌への掲載、などについて検討の要望があり、賞 (特にポスター賞と論文賞 (平瀬賞)) の在り方について検討することとなった。関連して、Plant Morphology 誌の内容について学会の活動記録的な内容と学術論文を分離し、電子媒体と印刷体を使い分けてはどうか、等の意見もだされた。
- (4) 総会議長候補の選出について (酒井) : 総会議長候補者として今市評議員を選出した。
- (5) その他 : 特になし。
 - ・ポスター賞の投票権について : 現在は投票権を有するのは「一般会員」のみとなっているが、この条件を緩和し「会員」あるいは「大会参加者」とすることについて審議したが、慎重意見多数のため見送った。
 - ・会員名簿の管理一元化・庶務幹事の作業軽減のため、会員名簿の管理を会計幹事が担当する、あるいは名簿担当幹事を設けることが提案され、了承された。

以上

・日本植物形態学会第 26 回総会記録（案）

平成 26 年 9 月 11 日 14:00～14:45、明治大学生田キャンパス第二校舎 A 館 2 階、J 会場

1. 大会長挨拶（箸本）：箸本大会長より挨拶があった。

2. 会長挨拶／学会創立 25 周年記念事業について（野口）：野口会長より、平成 26～27 年度執行部の紹介と、日本植物形態学会設立 25 周年を記念して出版した”Atlas of Plant Cell Structure”についての報告があった。

3. 総会議長選出（酒井）：総会議長として、評議員会推薦の今市会員を選出した。以後の議事進行は選出された議長による。

4. 報告事項

（1）庶務報告（酒井）：会員数の変動および平成 25 年度の活動状況について報告があり、了承された。

（2）会計報告（平成 25 年度決算）（林・河野）：平成 25 年度決算及び会計監査について報告があり、了承された。

（3）編集委員会報告（Plant Morphology の発刊状況）（唐原）：Plant Morphology の発刊状況と J-Stage 版公開状況についての説明があり、了承された。

（4）広報委員会報告（岩元／高野）：学会ホームページの運営状況とアクセス解析の結果、ならびに Twitter と Facebook での情報発信の開始について報告があり、了承された。

（5）平成 25 年度大会について（酒井）：前年度の大会（平成 25 年度大会、平成 25 年 9 月 12 日、北海道札幌市の北海道大学札幌キャンパスにて開催）の実績について報告があった。

（6）平成 26 年度大会（生田）について（酒井）：平成 26 年度大会（平成 26 年 9 月 11 日、神奈川県生田市の明治大学生田キャンパスにて開催中）の概要について報告があった。また、日本植物学会で開催される共催シンポジウムへの参加のよびかけがあった。

（7）平成 27 年度以降の大会について（酒井）：会場手配等の段階から日本植物学会と共同で大学・公共施設・業者等との交渉にあたるため、大会運営体制の早期確立が必要であることが報告された。

（8）3 賞選考結果について（河野）：3 賞選考委員会（河野委員長、塚谷評議員、田中評議員、野崎評議員、唐原編集委員長、オブザーバーとして野口会長）による審査の結果、学会賞は峰雪芳宣氏、奨励賞は市橋泰範氏、平瀬賞は市橋泰範氏を筆頭著者とする論文に、それぞれ贈られることとなったことが報告された。

（9）その他：特になし

5. 審議事項

（1）平成 26 年度事業計画案について（酒井）：資料に基づいて平成 26 年度事業計画（案、ただし 9 月上旬までは実績）が説明され、了承された。

（2）平成 26 年度予算案について（林）：資料に基づいて平成 26 年度予算（案）が説明され、了承された。

（3）その他：特になし

以上をもって総会を終了し、引き続き 3 賞の授賞式および受賞記念講演（学会賞、奨励賞）を行った。

6. 授賞式：3 賞受賞者（下記）に対し、野口会長から賞状と記念の盾が授与された。

「学会賞」：	峰雪 芳宣 氏	(兵庫県立大・院・生命理学)
「奨励賞」：	市橋 泰範 氏	(理研・環境資源科学)
「平瀬賞」：	市橋 泰範 氏	(理研・環境資源科学)

・受賞記念講演会（15:00～）

奨励賞：「葉の形の発生と進化における分子メカニズム」

市橋 泰範（理研・環境資源科学）15:00-15:30

学会賞：「分裂準備帯と細胞分裂面の確立」

峰雪 芳宣（兵庫県立大・院・生命理学）15:35-16:15

・受賞記念ポスター展示（16:30～、P4 会場、P-001）

[平瀬賞 1]

Evolutionary developmental transcriptomics reveals a gene network module regulating interspecific diversity in plant leaf shape. Ichihashi Y, Aguilar-Martínez J, Farhi M, Chitwood D, Kumar R, Millon L, Peng J, Maloof J, Sinha NR. (2014) PNAS 111: E2616-E2621.

講演会終了後は、ポスター会場（高等教育推進機構 S4, S6, S7 教室）に移動しポスター発表を行った。ポスター会場では一般会員の投票により、ポスター（平瀬賞を除く）の中からポスター賞 1 件（「耐塩性イネ科植物ローズグラスにおける塩腺細胞の微細構造とその形成」、大井崇生、三宅博、谷口光隆）選び、表彰を行った。